

■ 展示用パネル

新エネルギーでまちづくり

水素エネルギーを活用した北の町づくり (イメージ)

地域の特長を生かして

- 北海道の特長を生かしたエネルギー立地
風や水力などの自然には、自然エネルギーがたくざんあります。そのエネルギーで水から水素を生産し、他の地域へ供給するエネルギー立地ができれば地域の活性化につながると考えます。

水素社会の到来

- 地球の温暖化、オゾン層の破壊から未来を守る
水素エネルギーの時代
20世紀は石油エネルギーを中心に支えられてきた世紀でした。21世紀はエネルギー源の主役を水素が担うといわれています。
- クリーンエネルギー時代の扉を「燃料電池」が開きます。
水から「水素」を電気分解し、燃料として使い、排出されるのは元に戻った「水」だけのクリーンなエネルギー。

燃料電池の特徴

- 周辺環境への影響
排気ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物がほとんどありません。大型の回転部分がないため、騒音・振動がほとんど生じません。
- 多様な用途
自動車や船などの動力源として、大型のものは発電施設として、小型のものは家庭に取り付け、電力と熱を供給できます。送電線がない地域にも安定的な電力が得られます。

燃料電池のしくみ

「水素」と「酸素」を化学反応させて、直接「電気」を生産させる装置です。「電池」という名前が付いていますが、蓄電池のように電気を溜めておくものではありません。

燃料電池の燃料となる「水素」は、天然ガスやメタノールを改質して作るものが一般的です。改質は本質中から取り入れます。また、発電と同時に熱も発生しますので、その熱を活かすことでエネルギーの利用効率が上がります。

新エネルギー活用のおねらい

私たちの郷土は、豊かな自然の恩恵によって発展してきました。石炭や木材、沖合底層漁業のスケルトン、オオアノコや沿岸漁業のコンブ、カニ、酪農業の牛乳など豊かな自然の恵みを加工し、内地に出荷することで地域経済が成り立っていました。

しかし昭和50年代以降、海外の石油資源、森林資源の輸入競争によって自然の恩恵による頼り出しと内外の価格差、公共事業を背景に建設業で地域経済の下支えや観光産業など、2次～3次産業へ依存する傾向が強くなりました。また、日本をはじめ地球上の自然環境の悪化は最早、予測を許さない状況になっています。

私たちの地球の未来を考えると、豊かな自然の恩恵をもう一度見直すことが重要です。

北海道は、広大な大地と豊富な自然という潜在力を持ちながら地域の特色として活かして切れない。北海道の潜在力は、食料、エネルギー、環境と観光

- 日本の食糧自給率を補完できる食料生産基地に！
- 北海道が道州として、経済的な自立を可能にするエネルギー生産基地に！
- 地球温暖化など自然環境の悪化に歯止めをかけ、CO2削減などの温室効果ガスの削減を両立してできるまでの自然環境生産基地に！

私たちは、持続可能な社会を子孫に受け継ぐために地球に貢献できる日本、日本に貢献できる北海道の前進に力を尽くしていきたい。

新エネルギーを活用した地域づくりのイメージ

新エネルギーキャラバン in北海道

札幌～岩見沢～留萌～旭川～稚内
9月15日～16日
道北を縦断！



ねらい

- 北海道（道北地域）の市民を対象に、新エネルギーを利用した機器にじかに接する機会を作り、環境負荷の低いエネルギーの普及啓発を行う。
- 新エネルギーを活用した「まちづくり」の可能性を探る「講演会」「パネルディスカッション」を開催し、地域特性を活かした「地域づくり」を啓発する。

内容

- 新エネルギーパネル展の開催**
- 岩見沢市、留萌市、旭川市、稚内市の4会場で大パネル展を9月15日から22日まで9日間
 - 内容：燃料電池車の仕様、地球温暖化防止に向けた啓発、新エネルギーを活用したまちづくりの啓発
- 燃料電池車によるキャラバンの実施**
- 9月15日（木）札幌～岩見沢～留萌～旭川
 - 9月16日（金）旭川～稚内
- キャラバンに合わせたイベントの実施**
- 岩見沢市 燃料電池車の仕様、取組会
 - 留萌市 燃料電池車の仕様、取組会
 - 旭川市 燃料電池車の仕様、取組会
 - 稚内市 燃料電池車の仕様、取組会、パネルディスカッション

事業後の願い

- 新エネルギーが地域活性化のツールとなることを理解される
- 地域に根ざるエネルギーの新たな活用形が見えてくる
- 距離化され、エネルギー自給率が上がる
- 経済の活性化が図れる

地域コミュニティ-FMを通じてのイベントの中継

- 札幌（ラジオカロスソフポロ）出発式の中継
- 岩見沢（FMほたる）イベントの中継
- 留萌（FMほたる）イベントの中継
- 旭川（FMほたる）イベントの中継
- 稚内（FMほたる）イベントの中継、基調講演の録音放送（10月1日 16:00～）

主催／実行委員会
共催／旭川市、留萌市、稚内市、旭川市、道庁、道民会、道庁観光課、道庁環境課、道庁産業課、道庁建設課、道庁福祉課、道庁健康課、道庁教育課、道庁文化課、道庁スポーツ課、道庁観光課、道庁環境課、道庁産業課、道庁建設課、道庁福祉課、道庁健康課、道庁教育課、道庁文化課、道庁スポーツ課

後援／旭川市、留萌市、稚内市、旭川市、道庁、道民会、道庁観光課、道庁環境課、道庁産業課、道庁建設課、道庁福祉課、道庁健康課、道庁教育課、道庁文化課、道庁スポーツ課

協賛／旭川市、留萌市、稚内市、旭川市、道庁、道民会、道庁観光課、道庁環境課、道庁産業課、道庁建設課、道庁福祉課、道庁健康課、道庁教育課、道庁文化課、道庁スポーツ課

